

令和7年度第2回 西九州させぼ広域都市圏協議会資料

5 議事

【第1部】

- (1) 令和8年度の新規・拡充事業について
- (2) 各連携事業の内容変更について
- (3) 今後のスケジュールについて

日時: 令和7年11月10日(月)14:30～
場所: 松浦シティホテル 2階アザレア

(1) 令和8年度の新規・拡充事業について

- ✓ 令和8年度の新規・拡充事業は以下の2事業とする。(連携事業数の変化：42事業 → 43事業)
- ✓ 事業案の確認後、令和8年度予算計上上の手続きを行う。
- ✓ 正式には、予算議決の後(3月末開催予定)の第3回協議会において、西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更の手続きを行い決定する。

※ 連携事業の追加による「連携協約」の変更は必要なし

分類	連携事業	概要
拡充	ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の促進	既存の連携事業を拡充し、各市町がそれぞれに有する「食」、「歴史・文化」、「自然」を最大限活用しながら長期滞在エリアとしての魅力を高めるため、ハウステンボスとの連携により、観光コンテンツの開発や旅行者を圏域へ呼び込むためのブランディング及びプロモーション等について、当事業に位置付けるもの
新規	産学官連携による人材育成に関する検討	佐世保工業高等専門学校の立地や長崎国際大学理工系学部の新設等を背景として、地域産業の振興、人材の地元定着、企業誘致促進などを目的に産学官連携の拠点機能に関する検討を行うため、新規連携事業に追加するもの

【整理】歴史街道プロジェクトはハウステンボスとの連携事業に包含する

- ▶ 「歴史街道プロジェクト」は、圏域の歴史・文化を教育や観光振興、物産振興に活用する取組
- ▶ 当該プロジェクトの趣旨であるシティブランディングやシティプロモーションといった面を考慮する中で、次年度から実施予定のハウステンボスとの連携事業との親和性が高いことや、「相乗効果で新しい価値を生む仕掛けづくりが必要」という協議会からの指摘を踏まえ、上記事業に包含することで、より効果が得られると判断したもの。

各役割の下に、以下のとおりそれぞれ位置づけることとする。

役割	No.	連携事業
ア 圏域全体の経済成長のけん引	1	西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	広域連携による周遊観光の推進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上



役割	No.	連携事業
ア 圏域全体の経済成長のけん引	1	西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の促進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上
	43	産学官連携による人材育成に関する検討

拡充

追加

(1) 令和8年度の新規・拡充事業について

【現行】

事業名	広域連携による周遊観光の推進												拡充
事業概要	<ul style="list-style-type: none">圏域内に点在する観光施設や体験メニュー、イベントなど観光素材の棚卸を行い市場の特性に応じた磨き上げに取り組みながら旅行商品化を図る。本圏域で最大の集客力を誇るハウステンボスの来訪客の取り込みを含め、広く圏域内の周遊促進につなげる。圏域内の観光素材を活用した観光客へのプロモーションを行い、佐世保市を起点とした域内周遊観光の促進による地域経済活性化を図る。												
関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
連携による 効果	造成した旅行商品を機に来訪した観光客の周遊による圏域の経済活性化												
事業費見込額 (千円)	2024 (R6)		2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)		合計		
	16,754		16,754		16,754		16,754		16,754		83,770		
国及び 県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市			圏域内のコンテンツ造成・販路開拓・プロモーション等にかかる企画立案と各関係市町との調整を行う。									
	関係市町			観光素材の棚卸・磨き上げによるコンテンツ造成(事業者、団体等との調整)を行う。									
KPI (重要業績評価 指標)	指標				現状値(令和3年度)				目標値(令和10年度)				
	圏域における観光客数				8,186,661 人/年				14,838,000 人/年				

【変更案】

ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の促進

圏域内に点在する観光素材の磨き上げに取り組みながらインバウンド向けの旅行商品化を図るとともに、プロモーションを実施する。

各市町がそれぞれに有する「食」、「歴史・文化」、「自然」を最大限活用しながら長期滞在エリアとしての魅力を高めるため、ハウステンボスとの連携により、観光コンテンツの開発や旅行者を圏域へ呼び込むためのブランディング及びプロモーション等を行う。

佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12

長期滞在型周遊観光の促進による圏域の経済活性化

2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計
16,754	16,754	R8年度予算計上予定のため未定			

—

佐世保市	圏域内のコンテンツ造成やハウステンボスとの連携事業に係る企画立案及び連携事業、関係市町との調整を行う。
関係市町	観光素材の棚卸・磨き上げによるコンテンツ造成(事業者、団体等との調整)、ハウステンボスとの連携事業を行う。

指標	現状値(令和3年度)	目標値(令和10年度)
圏域における観光客数	8,186,661 人/年	14,838,000 人/年

(1) 令和8年度の新規・拡充事業について

【具体的取組み】

事業名	産学官連携による人材育成に関する検討												新規
事業概要	・ 佐世保工業高等専門学校の立地や長崎国際大学理工系学部の新設等を背景として、地域産業の振興、人材の地元定着、企業誘致促進などを目的に産学官連携の拠点機能に関する検討を行う。												
関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12
連携による 効果	圏域における人材確保のインセンティブになるような産学官連携の拠点機能に関する検討を行うことにより、将来的な機能構築及び圏域の競争力向上につなげる												
事業費見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)		合計			
	web会議予定のため、事業費なしの予定												
国及び 県補助制度等	—												
役割分担	佐世保市		産学官連携の拠点機能に関する提案・協議・調整を行う。										
	関係市町		産学官連携の拠点機能に関する協議・調整を行う。										
KPI (重要業績評価 指標)	指標						現状値 (令和5年度)		目標値 (令和10年度)				
	検討事業のため、KPI設定なし												

参考／現状分析

高等・専門教育機関や産学連携機能が充実している長崎市・県南地域との比較において、大学への進学率やIT企業や製造業の設計・開発拠点の立地件数に差が見られる。

①理工系の高等・専門教育機関(4年制大学)、産学官連携機能

【長崎市・県央地域】

- ・長崎大学 情報データ科学部
- ・長崎県立大学 情報システム学部

◆産学官連携拠点

長崎県立大学シーボルト校 情報セキュリティ産学共同研究センター

②大学進学率

【県南】
53%

【県北】
36%

【長崎市】
51%

【佐世保市】
39%

③2019～2024のIT企業や製造業の設計・開発拠点の立地件数

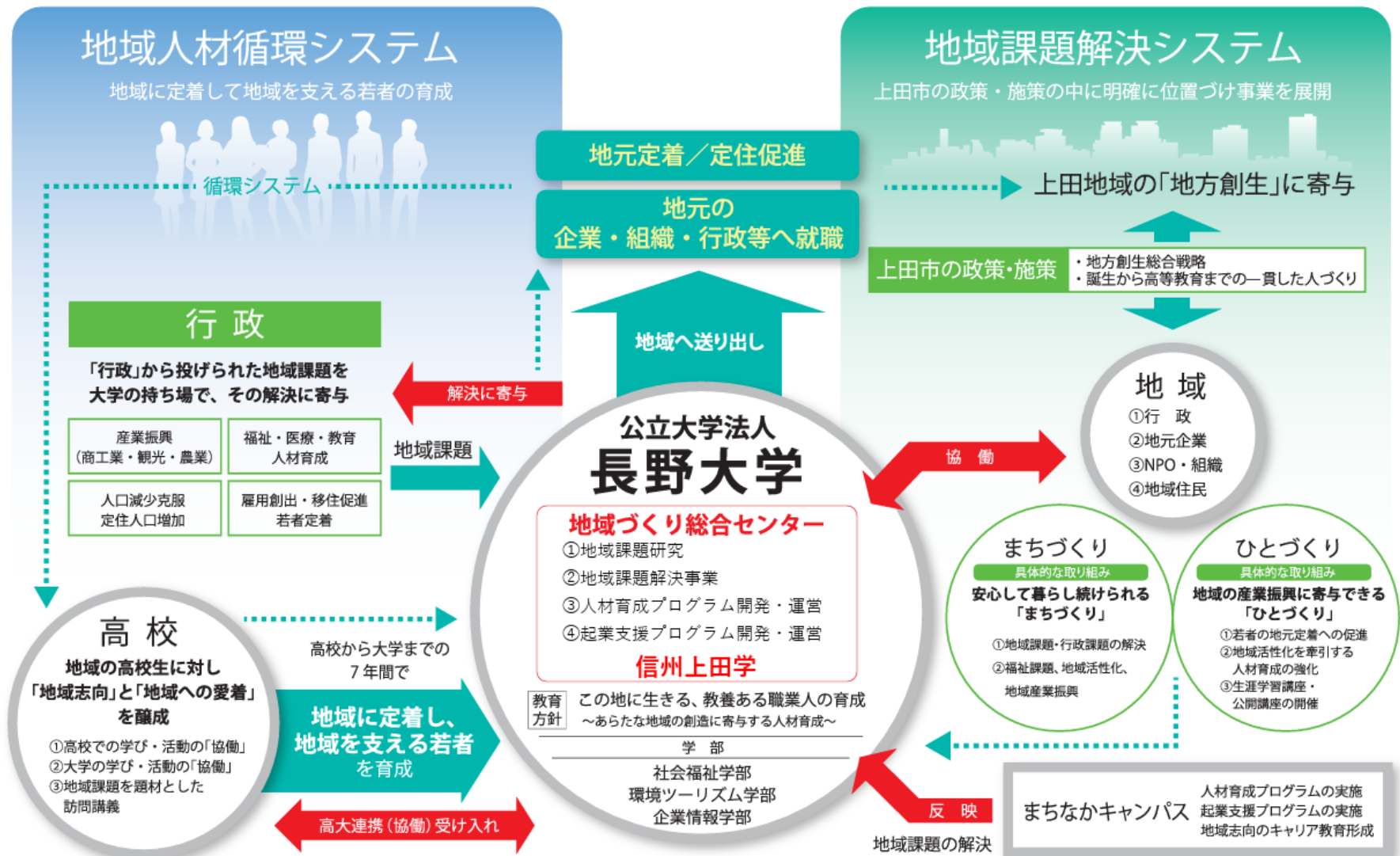
【長崎市】
26件

【佐世保市】
4件

参考／長野大学（上田市設置）における産学官連携の取組

- 長野大学は令和8年4月より、情報技術を駆使して未来を創造できる人材育成をめざし、「共創情報学部」を設置する。
- 新学部の設置と並行し、既存の地域づくり総合センター内に「うえだ人材共創スクエア」を設置、「産学官＋学生」の連携により上田地域らしい人材育成の場を提供するもの。
- 現時点で地域企業10社が参画している。

参考／長野大学の公立大学法人化後の大学像「地域を支える人材育成」モデルの概念図



(2) 各連携事業の内容変更について

- 令和8年度からの連携事業の一部について、事業に参画する構成市町の増減が生じたため、事業内容変更の確認を行うもの。
- 正式には、3月末開催予定の第3回協議会において、西九州させぼ広域都市圏第2期ビジョンの変更の手続きを行い決定する

【対象事業】

番号	連携事業	変更内容	備考
No.7	圏域内企業の認知度向上	構成数：7市町 → 6市町 (▲1 西海市)	【事業内容による各市町への影響・対応】 <ul style="list-style-type: none"> ● 事業費負担の影響なし ● ビジョン改定手続き必要 (事務手続きは、佐世保市で実施) ● 連携協約の変更手続き不要
No.21	ファミリー・サポート・センターの充実	構成数：7市町 → 9市町 (+2 東彼杵町、小値賀町)	
No.26	中心市文化芸術プログラムの広域連携	構成数：10市町 → 9市町 (▲1 小値賀町)	
No.32	圏域内のエコライフ推進 (「させぼエコラボ」環境啓発ツールの広域展開)	構成数：8市町 → 9市町 (+1 小値賀町)	

(3) 今後のスケジュールについて

① 令和7年度10月以降のスケジュール(案)について

区分	R7						R8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
会議等	<div>10/20 幹事会 (松浦市)</div>	<div>11/10 協議会 (松浦市)</div>	予算編成・ビジョン改定案作成		<div>幹事会</div>	<div>ビジョン懇談会</div>	各事業実施
		協議、視察、懇親会を予定	新規・拡充事業案の決定		ビジョン改定決定	<div>協議会</div>	
						<div>予算議決</div>	
						<div>ビジョン確定・公表</div>	